

授業の回と日付：二回、4月20日

課題名

課題に取り組むにあたり、まずどの翻訳機を使用するか検討した。これは、この課題にどれが一番利便性に長けているかどうかで選択した。翻訳機の検索には、以下のものを使った。

Google

キーワードを太字で表示。サイト内の文を強調してくれるため、求める情報が見極めやすい。

Yahoo! Japan

こちらも Google と同様に太字で現してくれるが、サイト文は一行で終わらされている。また、代表的なもの等関係なくカテゴリで紹介される。

goo

Google と似ている。関連ワード等は重宝するものがある。



以上の三つの検索サイトから、goo を選んだ。一番大きいのは検索ワードの存在である。クリックしてみると分かるが、各語の検索サイトへのカテゴリ別となっている。このことから、この検索機を選んだ。

次に、翻訳機を選ぶことにした。

Excite 翻訳

英語、中国語、韓国語の翻訳が可能。しかし、文章全文が訳されないという欠点があった。そして、テキスト検索とURL検索のページが別であり、手間がかかる。どちらかのみときは重宝できるものと思われる。

@nifty 翻訳

英語のみの翻訳で、今回の“多言語のニュース情報の翻訳”にはそぐわないと思われる。しかし、テキスト検索とURL検索は同ページに置かれており、更に翻訳機能を使用すると、別ウィンドウが出てくるので英語検索の際は便利化と考えられ

た。

Lycos 翻訳

英語、中国語、韓国語の翻訳。テキスト検索とURL検索を同ページ内に備えていた。URL検索の際に、上記フレーム内に検索窓が付けられていたので、再検索が容易にし易い。

OCN 翻訳

英語、韓国語の翻訳。加えて、同ページ内にテキスト検索とURL検索が備わっていた。しかし、URL検索で訳した際に、上記のフレーム部分に検索窓はなかった。

So-net 検索

英語のみ。テキスト検索とURL検索も同ページに置かれていた。URL検索後は、やはり検索窓はなかった。

以上の五つを候補としてだした。既に前述した内容から、info seek の lycos 翻訳を使用することにした。理由は、三ヶ国語の翻訳が可能なこと。テキスト検索とURL検索の扱い。そして、検索窓の表示が理由である。すぐに検索が実行できることが、この翻訳機を使う決め手になった。

次に、検索するニュースを選んだ。この時は、単純にNHKのサイトから国際的な出来事を選ぼうとも思ったが、私自身が興味を持っていることを検索することにした。まだ記憶にも新しい、イラクでの日本人拘束のニュースだ。日本国内で今、批判の対象と変わりつつあるそれが、他国のニュースサイトではどのように取り上げられているかを調べると共に、課題へと取り組むことにした。

他国のニュースサイトの検索だが、まず Google で英語のニュースサイトの検索をした。Google は、今までの経験の上で他の検索サイトよりも、英語の検索が素直に出てくると感じていたからである。他のサイトは、そのホームページの中に独自のニュースを持っているため、そちらのほうに偏りがあった。無論、日本人向けのサイトなのだから当然ともいえるのだろう。

英語のサイトだが、話はそれるが検索の言葉はそのまま知っているTVニュースの名前を入れた。CNNとABCニュースである。NHKのBSで、私はよく外国のニュース番組を見ており、今回そのときに放映されるニュース名や、有名なものを入れさせてもらった。その理由は、外国のサイトへつなぎウイルスに感染しないかという恐れがあったからだ。セキュリティが万全といっても、それは確実ではないと思われたからだ。しかし結局の所、そういったニュースサイトは検索項目の上位に現れた。その知名度から安心性があると思われたので、選択した。

話を戻す。検索の手順として、Google で見つけたURLをまずコピーし、先ほどの検索機のURL検索をかけた。そして訳されたサイトで更に検索する為に、次はキーワ

ードとして“日本人”といれ英訳の“Japanese”を出し、ニュースサイトの検索窓で検索をした。

URL検索されたページは、日本語訳のままに探していた記事を出してくれた。

CNN.com

簡潔な文章で要点が記されていた。ニュースではあるが、新聞に書かれるような極々普通のものといえる。文章自体は長くなく、1.2分程度で読める。

また、英語にもかかわらず日本の住所が入っていた。

ABC NEWS

驚いたことに、日本人拘束についてのニュースが見当たらなかった。検索のキーワードを“拘束”や“邦人”、“イラク”ともいれたが、日本人拘束に関することは探すことが出来なかった（英語）。

サイト内の選択肢にあった“国際”でも同様で、アメリカに関するイラク記事は多数検索されたが、このニュースに関することは見つからなかった。検索の結果は、主にアメリカに関連があるか、もしくは爆破事件等の記事に限られていた。これは、私に今回の事件のアメリカ人の認識の仕方を垣間見せられたように感じられた。

中国のニュースサイトを検索するのに、Yahoo!Japan を使用した。



この“世界の Yahoo!” から外国サイトへ移動することにしたのだ。一番の理由としては、PCが簡体字を打てないためである。不肖ながら、多少中国語を使えるのだがニュースや番組と検索サイトで使用しても、日本でのサイトに行き着くと思われたからである。なので、ここから簡体字表記の Yahoo!へとんだ。それを確認してから、今度は lycos 翻訳のテキスト翻訳で“中国導報”、“新華社通信”を中国語に訳し、Yahoo!で検索した。表示されたURLをそのままURL翻訳に入力した。

そして、同様にテキスト翻訳で“日本人拘束”と中国語に訳し、表示された簡体字を中国導報の検索窓に入れ、検索した。

中国導報

中国の特色とっていいのか、日本やアメリカと違い記事には人間的な情緒が感

じられた。しかし、内容は日本内部の党から語られており、そのニュースに対しての論点があきりと置かれていた。

次に、同様に韓国ニュースサイトを検索した。

K B S

今までと同様にURL検索を行ったのだが、エラーが続出し更に文字化けがあり、一部分が解読できなかった。さらに、検索を行おうとするとサイトからエラーの通知を受けてしまうということになってしまった。翻訳機を変えても同じことで、変わりはしなかった。

そこで、韓国語のまま検索を試みたが、またエラーにされニュースにまで行き着くことが出来なかった。

以上の、アメリカ2サイト、中国1サイト、韓国1サイトを訪問した。既に記述したとおり、ニュースまで至ることが出来なかったサイトもあり、満足できる結果までは行き着けなかった。

最後に、ニュースの特色を挙げておこうと思う。私は、ニュース記事を“イラクでの日本人拘束”について課題に取り組んだ。先にも書いたとおり、様々な意見が飛び交うものだが、外国からのこの事件に関しての声は、日本国内とは違う視点だったといえる。客観的な視点で書いてくれたCNNなどいい例だろう。他にも、中国系のサイトではかなり感情を込めてこの事件に言葉を送っていた。今日本国内で自己責任を追及する声が上がっているのに、まったくもって逆であるといえるだろう。無論、それが全てとも言い切れないが、私にはそう思えた。

これ以上の事件への考察は課題から外れるので控えるが、普段見る機会のない外国の報道で、随分と視野の違いを感じさせられた。一方通行の情報の流れしか持たないメディアを、如何に活用すべきかは、利用者にかかっていると考えられたのである。

翻訳機等、普段使わないものを使用しての検索はかなり骨が折れた。別ウィンドウを開くなど、効率的に検索を行うことが求められ、PCの使い方がまるきり変わった気分だったのだ。そのことで検索の検索という行為に対しての考えが変わった。

普段のように、アドレスバーに淡々とキーワードを並べるだけでは、誰でもできることなのだ。その後、その検索結果をどう見るかは、利用者の手に委ねられている。その検索結果から“どうするか”ということ、学び取れた気がした。

講評

1. ファイル名の付け方：指示通り。

2. レポートの形式：ほぼ指示通り．
3. レポートの内容：考察内容は必要十分条件を満たしている．
4. レポートの記述方法：工夫を凝らしていることは理解できる．レポートの構造をもう少し意識し，記述方法を工夫すると一層素晴らしいレポートになる．

成績： 9 点